

令和元年度事業報告書

自：平成 31 年 4 月 1 日

至：令和 2 年 3 月 31 日

社会福祉法人 愛恵協会

令和元年度 愛恵協会事業報告

令和元年度については、老朽化したステップやまなかを旧竹千代温泉跡地のなかしばエリアに移転し、「新たな拠点づくり」と「地域交流を図る為の環境整備」に取り組むことが出来ました。

旧ステップやまなか跡地については、家屋は解体し、土地は協会の運営資金に充てるため売却を進めております。

また、愛恵協会の使命として行ってきた岡崎市障がい者相談支援事業所「みなみ」の廃止ほか、幸田町つどい作業所事業の一部、社会就労センター舞木ワークス事業の一部を整理いたしました。

年度末になり新型コロナウイルスの影響が出はじめ、今後の運営が懸念される施設もありますが、全体としては、生活困窮者支援対策、障害者福祉サービスを岡崎市・幸田町の福祉計画に沿って事業を進め、今まで以上に利用者主体・チーム支援を意識した活動を展開できました。

1. なかしばエリア及び幸田町事業部門の運営を円滑に進め、地域と連携できる体制の整備を図り、全事業所の安定した事業運営を目指します。

ステップやまながが移転した1年目なかしばエリアでは、改善点が多く見つかりました。幸田町事業部門では、2年目で協会独自の経営改革に取り組みました。また、なかしばエリアでは、協会春まつり・グランドゴルフ大会を開催し、予想以上の地域交流ができました。

2. 地域生活を支えるため、各機関の連携によりショーステイ・日中一時支援事業・グループホーム・居宅介護事業・居住支援事業等の充実に努めます。

各事業の課題抽出を含めた情報共有や充実した支援を提供するための連携を意識して取り組むことが出来ました。また、岡崎市居住支援協議会の立ち上げに参画し、賃貸住宅、公営住宅、有料老人ホーム等への地域生活への移行支援を実施しました。

3. 法令順守の徹底を図り、職員・利用者や関係機関の権利を尊重した組織運営並びに健全な財務規律の確立を図ります。

顧問弁護士による講演会や新人職員を対象とした権利擁護に関する研修等を実施し、権利擁護の周知を図りました。また、年次休暇の取得計画表を作成し、職員が計画的に休暇を取得できるようにしました。事業と経理を一体的に行うことにより適正な予算の執行に努めました。

4. 職員一人一人が自己研鑽に励むと共に、後輩職員の育成にも努め、利用者支援力の向上を目指します。

社会福祉士会、介護福祉士会、精神保健福祉士会との協働のほか、研修委員会を中心として職員が受講した外部研修内容の発表会を実施し、職員の支援力向上に努めました。

5. 働き方改革に伴った職場環境作りに取り組むと同時に、愛恵協会職員としてのプライドを持ったマナー・ルールで行動することに努めます。

働きやすい職場作り委員会を中心に職場環境作りを進めた結果、不要な残業を無くし、事業効率を高める目的で、10か月間のグループ研究を実施し、成果を公表しました。

令和元年度理事長行事等出席報告

- 岡崎市障がい者自立支援協議会事務局会議 4/1(月)
- 岡崎市立山中小学校入学式 4/5(金)
- 第1回岡崎市障がい者自立支援協議会 4/15(月)
- 山中学区社会福祉協議会・福祉委員会 4/18(木)
- 医療法人仁精会三河病院竣工式 4/28(日)

- 愛知県社協社会福祉法人経営者委員会常任委員会 5/13(月)
- 岡崎肢体不自由児・者父母の会総会 5/16(木)
- 山中学区ふれあい大運動会 5/25(土)
- 山中学区まちづくり協議会 5/28(火)
- 岡崎市社会福祉審議会総会&専門分科会 5/30(木)
- 社会福祉法人せきれい会総会 5/31(金)

- 第3回岡崎市社会福祉協議会理事会 6/6(木)
- 平和学園募金贈呈 6/10(月)
- 岡崎市精神障がい者福祉協議会総会 6/12(水)
- 第4回岡崎市社会福祉協議会理事会 6/24(月)

- 障がい者自立支援協議会事務局会議 7/8(月)
- 岡崎市障がい者自立支援協議会 7/22(月)

- 山中城址周辺的环境整備 9/28(日)
- 岡崎市障がい者自立支援協議会 10/21(月)

- 幸田町地域総合支援協議会 11/6(水)
- 山中学区まちづくり協議会 11/16(土)
- 県社会福祉大会陳情書提出(岡崎市へ) 11/25(月)

- 第5回岡崎市社会福祉協議会理事会 12/13(金)
- 岡崎市障がい者自立支援協議会 12/16(月)
- 岡崎市社会福祉審議会専門分科会 12/26(木)

- 山中学区新年交礼会 1/3(金)
- 山中学区まちづくり協議会 2/15(土)
- 障がい者自立支援協議会事務局会議 3/2(月)

令和元年度 生活保護部門 事業報告

「愛恵園」

防災対策の為、愛知県共同募金会から助成を受け、スプリンクラーが稼働出来る状態にしました。また地域活動支援として、地元の高齢者団体に会議室の提供を行い、施設機能を開放致しました。他に愛知県補助事業である居住支援事業は施設退所時の移行先の調整を行いました。岡崎市委託事業の生活困窮者自立支援事業では困窮相談が昨年比の1.5倍増となり、関係機関との更なる連携により対応しています。

「ぷらっとホーム」

地域の防災訓練や清掃活動等への参加を通じて、地域住民としての自覚を促した。また法人内事業所と連携し支援を行った。

「愛恵園授産所」

農福連携の取り組みとして、愛恵園と協働することで障がいの有無を問わず互いを理解し、自主製品の六次産業化に努めました。また法人内事業所との連携により、授産売上の増に繋がり将来の為に積立を行いました。

詳細については、各事業所の事業報告をご確認ください。

令和元年度 生活訓練部門 事業報告

障がい者が充実した地域生活を維持・継続するために必要な各種障がい福祉サービスを提供している部門です。今年度も、法人の運営方針・事業計画を意識し、下記の事業を実施しました。

「生活訓練事業所あい」

障がい福祉サービスの内、「宿泊型自立訓練」「自立訓練（生活訓練）」「短期入所（併設型）」「日中一時支援」「自立生活援助」を行っています。生活リハビリテーション（起床・就寝、金銭管理、服薬管理等）を必要とする方に生活訓練を提供し、2年～3年の間に本人が希望する地域生活に移行していけるよう取り組んできました。令和元年に短期入所を単独型→併設型に移行しましたが、収入面以外では特に大きな変化なく実施できています。

「あいけいホーム・あいけいホームⅡ、あいけいホームⅢ」

障がい福祉サービスの内、「共同生活援助（グループホーム）」「自立生活援助」を行っています。令和元年度は、新たにグループホームから地域生活に向けてより一層の支援が提供できるよう「自立生活援助」のサービスを開始しました。また、次年度より医療との連携を強化する体制（医療連携体制加算）が構築できるよう取り組んできました。

「おたまじゃくし」

障がい福祉サービスの内、「居宅介護事業（家事援助、身体介護等）」「行動援護」「移動支援」を行っています。障がい福祉専門のヘルパー事業所が少ない中、当事業所は特に「余暇活動支援（行動援護、移動支援）」に取り組んできました。次年度は、毎月開催していたヘルパーミーティングや職員会議の実施方法を見直し、情報共有の改善を図っていきます。

詳細については、各事業所の事業報告をご確認ください。

令和元年度セルフ・生活介護部門事業報告

法人の理念、方針、計画に基づき事業展開を行い他のセルフ・生活介護部門との連携を取りながら、生活介護事業、就労継続支援 B 型事業、就労移行支援事業の充実を図りました。就労移行支援事業については、利用者の利用ニーズが少なかったため、事業を見直し、休止期間を経て3月31日に廃止となりました。

○愛恵ワークス

生活介護では、小グループでの外出で社会参加や羽栗ふれあいサークルなど地域交流を行いました。就労継続では、通い箱洗浄など安定した作業の確保により利用者個々にあった作業の提供を行いました。

○舞木ワークス

就労移行支援事業は、利用ニーズの少ないことから、休止期間を経て廃止となりました。就労継続支援 B 型事業において、就労移行から移籍された2名の利用者の方が一般就労できました。生活介護では、作業中心から活動中心へ移行し、プログラムや外出など社会参加に向けて取り組みを行いました。

○ステップやまなか

事業所移転し、安心して活動できる環境づくりに努め、利用者の方が不安なくスムーズに移行できました。利用定員増を行い、新規利用者も増えました。授産は自動車部品加工の作業が大幅に増え、工賃増も行うことができました。

○多機能事業所てんじん

就労継続支援 B 型事業では、利用者も増え、弁当作業の安定、自動車部品加工の作業も増え、継続して作業の提供及び職業訓練を行いました。生活介護では、看護師の体制を整え医療ケアを含む重度障がい者の方の受け入れを行いました。小グループでランチや初詣外出を行い、社会参加を行いました。

詳細については、各施設の事業報告をご確認ください。

令和元年度 相談部門事業報告

1.相談支援事業（生活支援センター山中・相談事業所「みなみ」）

岡崎市委託相談事業所として、岡崎市東部・南部地域を中心に利用者及びその家族に対し、関係機関の支援者と協力し、地域生活の支えとなるよう来所相談・電話相談・訪問等で支援を行いました。また、岡崎市障がい者自立支援協議会専門部会の委員や事務局として専門部会の運営に携わり、岡崎市の障がい福祉の課題について検討する機会を持つことができました。

相談事業所「みなみ」については、平成22年5月に指定を受け、運営を行ってきましたが、南部地域に他の相談支援事業所の運営がなされる状況となり、愛恵協会として当初の役割を果たすことが出来たため、令和2年3月31日付で閉所する事となりました。

2. 地域活動支援センター事業（生活支援センター山中）

休日や長期休暇時にお楽しみプログラムを実施し、利用者の余暇活動を推進することが出来ました。また、365日開所する事で、地域で暮らす利用者の居場所としての役割を果たすことができました。

3. 障害者就業・生活支援センター事業（西三河障害者就業・生活支援センター輪輪）

職員数が前年度より1人少なくなった影響もあり、一般就労41件（目標35件）・職場実習23件（目標24件）と昨年度に比べ実績は減少しましたが、ハローワークや法人内就労支援事業所と連携し、就労支援を行う事ができました。

また、年5回、働く仲間の交流会を実施し、登録者同士の交流を図ることが出来ました。登録者の在職年数や障がい特性を考慮したテーマ設定を行い、社会生活に必要な情報提供やレクレーションによる余暇支援を行う事ができました。

令和元年度幸田町部門事業報告

・ 共通事項

法人理念・方針・計画など愛恵協会の強みを活かした事業展開を行い、安定した運営及び幸田町や利用者の信頼に努めました。

○つどいの家（幸田町指定管理）

2年目を迎え、利用者が幸田町運営時と変わらないプログラム活動によって安心した活動と建物管理の点で利用者、当事者団体等円滑に活動の場を得ることができるよう管理運営に取り組みました。

○つどい作業所

就労移行支援事業は、利用ニーズの少ないことから、休止期間を経て廃止となりました。就労継続支援 B 型事業において、作業科目の見直しを行い売り上げの増収により利用者工賃の倍増を図りました。生活介護では、保護者を含めた面談を重視しニーズ、課題からプログラムや外出など社会参加に向けた取り組みに反映しました。

○生活支援センターこうた

地域移行、地域定着支援について精神科病院からの退院患者のその後の生活の安定のための支援を行いました。また、幸田町よりかねてから計画されていた幸田町医療的ケア児在宅支援事業の運用を開始しました。

○幸田町生活困窮者支援事業

愛知県、幸田町等の関係機関との連携により生活、就労への相談支援、食糧支援について緊急性の高い支援者に対し、早期支援により自立支援に取り組みました。幸田町子ども学習支援についても生活困窮など課題のある世帯の児童を対象に学習力の向上とともに世帯の生活状況の見守りと把握に努めました。また、月 1 回子ども食堂を開催し児童の栄養改善と協力者である幸田町地域との連携を図りました。

詳細については、各施設の事業報告をご確認ください。

令和元年度 法人事務局事業報告

◇ 会計経理事務

社会福祉法人会計23年基準も定着し、今年度は基準自体の大きな規定の変更はなかったのだが、令和元年10月からの消費税率の変更で軽減税率の導入などにより、これまで消費税額8%として全て処理できたものが、10%と8%が混在することになり、その振り分けに知識と経験が必要になった。また、会計システムへの入力方法も変更があり、これまでより一段と注意を払う必要が出てきた。

☆ 令和元年度試算表説明実績

◎ 令和元年10月から12月にかけて、各事業所の職員会議にて予算、試算表の説明を行った。

☆ 消費税率変更に伴う会計処理の内部研修

◎ 令和2年2月に消費税率変更に伴う会計処理の仕方について内部研修を行った。
研修参加者：40名

◇ 事務局の現況

「事業と経理の両輪」を合言葉に、予算の編成から決算処理まで、部門長及び管理者とのコミュニケーションを取りながら事業運営の一端を担ってきた。

課題としては、人事異動や事務局職員の入退職による事務レベルの維持で、令和2年度においては研修の機会を増やし、事業運営に支障が出ないような体制づくりを考えている。

☆ 目標管理設定は、事務局職員から意見を出し合い、最終的には管理者がまとめ、目標管理の設定ヒアリング・中間面接・目標達成報告等の実施をした。

☆ 産業医による講演会を年間2回実施した。また、メンタルヘルスチェックも産業医の指導の下2月に実施した。

☆ 研修実績

令和元年度 事務局研修説明会参加 一覧表

日時	内容	場所	参加者
平成31年4月16日	社会福祉法人制度改革事務担当者セミナー	TKPガーデンシティ	杉山直人
令和元年9月9日	労務管理講習会	TKPガーデンシティ	石原健吾
令和元年9月10日	社会福祉法人会計基準実務研修会	愛知県社会福祉会館	味岡美保
令和元年11月20日	消費税軽減税率制度説明会	岡崎市シビックセンター	辻、長谷川、仲川